

(結果公表様式)

東御市 6 次産業化推進計画（素案）

に対するパブリックコメントの結果について

1 募集の概要

件 名	東御市 6 次産業化推進計画（素案）に関するパブリックコメント
意見の募集期間	令和元年 12 月 13 日（金）～令和 2 年 1 月 17 日（金）
意見の受付方法	電子メール、ファックス、郵送、担当窓口へ直接
意見の周知場所	市報とうみ、市ホームページ、市役所本館、北御牧庁舎、総合福祉センター、中央公民館、市民ラウンジ、滋野コミュニティーセンター、称津公民館、和コミュニティーセンター
結果の公表場所	市ホームページ
提 出 状 況	(1) 提出者数 5 人 (2) 提出意見数 20 件
実 施 機 関	東御市産業経済部 6 次産業化推進室 電話：0268-75-2016 ファックス：0268-64-5881 電子メール：6jika@city.tomi.nagano.jp

2 ご意見の提出状況と対応区分

区分	内容	提出者数	意見数
A	ご意見の趣旨が既に反映されているもの。	0	0
B	ご意見を反映させるもの（または修正したもの）。	2	3
C	ご意見を反映することはできないが、今後の参考とするもの。	3	10
D	ご意見を反映できないもの。 ・法令等で規定されており、市として実施できないもの。 ・実施主体が市以外のもの。 ・市の方針に合わないもの。など	0	0
E	その他のご意見（質問、感想等）。	5	7
計		10	20

※表中の提出者数は、1 人で複数の意見を提出している場合があるため、実際の提出者数（5 人）と一致しません。

3 ご意見の内容と市の考え方について

番号	意見の内容・要旨	市の考え方	反映区分
1	P5 東御市の現状について（１）アで、第２種兼業農家の減少がほぼすべて。図表１と図表２を分ける事は意図的と思われる。統一すべき。	同一のグラフに統一するとグラフが見づらくなってしまうため、図表１と図表２で分けて掲載しております。	C
2	P6 直近５年を考えるためには、図表４で 65 歳以上を 75 歳以上と分けてほしい。	修正しました。	B
3	P10 くるみは名産といわれるのに、木の本数で生産量や額が何も見えない。	生産量や生産額については、調査を行っていないため、把握しておりません。	C
4	P16 観光スポットとし「芸術むら公園」の連続客数減を明記する状態である。	６次産業化推進計画のため、詳細な記述等は行っておりません。	C
5	P17（３）６次化において認定に魅力がないのが構造的問題ではないのか。	ご意見として承ります。	E
6	P18 開発した東御ガレットは見たことも出す所もないならどう普及していた？明るい話題として、雷電くるみの里の客数増加は大きい。	開発された東御ガレットは市内飲食店等で提供されており、東御市雇用創造協議会が作成したパンフレット等で周知をしております。	E
7	P19（１）④マーケットインなど妄想であり、スタートが間違えと考えられる。	ご意見として承ります。	C
8	P19（２）③④⑤から地域にもう一つの里として「ぶどうの里」を作っては？	ご意見として承ります。	C
9	P19（３）②③⑥から共同体などのバックアップやマッチングを探ることがよい方法の一つと思われる。	今後の参考とさせていただきます。	C
10	基本方針の【東御の農 thank you】は文字として考えたことはわかるが、音にしたらアウトである。方針がナンセンスなら、そこにつながる管理、計画も台無し。	記載内容について、検討いたします。	B
11	計画振興で PDCA サイクルを書いているが、PDCA が理解されていない。計画の遂行が本旨であり、ACTION は毎年行い、ずれや失敗	計画は令和２～６年度の計画となっており、計画に記載されている数値目標	C

	は毎年再計画することが取り組みに入って、初めてサイクルとなる。	等の評価・検証については、毎年度行ってまいります。	
12	①東御市6次産業化推進計画（素案）に関するパブリックコメント実施要領について パブリックコメント実施要領が添付されていないこと。東御市6次産業化推進計画（素案）の策定経過が市民に周知されなかったことは、パブリックコメント実施要領が示されていないことに象徴される。パブリックコメントを求める基本姿勢が忘れられていることは指摘したい。何故、市民からの意見等を求めるのか計画策定の矜持を求めたい。	実施要領については、ホームページ上で掲載をさせていただいたところですが、今後、パブリックコメントを実施する際には、市民の皆様に広く周知を行ってまいります。	E
13	②東御市6次産業化推進計画（素案）の策定の経緯について 東御市の独自性をもつ6次産業化推進計画であるために、計画策定の経緯、委員会等でのような議論がなされたのか経緯をしめすことが求められる。多くの計画には「計画策定の経緯」が示されている。多くの計画には審議会や協議会等の委員名簿が示されている。どこでどのような策定の業務を行ったのかは計画の透明性・公平性、民主制に関わることである。計画の立案、実施と評価のいのち（生命）に関わる。	ご意見を踏まえ、ホームページに計画策定に向けた経緯等を公表させていただきます。	B
14	③持続可能な開発目標（SDGs : Sustainable Development Goals）について 持続可能な開発目標（SDGs）を掲げる場合、実施実績、成果創出について KPI（重要行政樹評価指標）をもって掲載することを求める。 「2 飢餓撲滅、食料安全保障」「8 包摂的で持続可能な経済成長、雇用」「9 強靱なインフラ、工業化・イノベーション」「12 持続可能な消費と生産」についての社会的インパクトを示してほしい。 KPI（重要業績評価指標）の策定と提示を求める。あたかも環境に配慮しているかのように見せかけて消費者と市民に誤解を与えていないだろうか。SDGs 宣言のみで終わらせな	市では、SDGs の推進にあたっては、“総合計画の推進を図ることで、SDGs の目標達成に資する”としています。 また、2020 年 3 月 1 日に施行する「東御市 SDGs 庁内推進指針」において、総合計画で明らかにした施策は SDGs ゴールに紐づけるとともに、総合計画における「施策の成果指標」を用い、SDGs の達成にどう貢献したのかを計	E

	いたためには、目標と結果を証明することが求められる。結果とは、社会的価値の創出である。	測・評価し、PDCA サイクルを回していくととしています。 本計画は総合計画の基本計画に沿って定める計画であり、関連する施策のSDG s 視点からの評価は、総合計画の「施策の成果指標」を用いて行うことから、本計画内において別途 KPI の策定と提示は行いません。	
15	1 KPI (重要業績評価指標) の設置について東御市 6 次産業化推進計画の進行管理に「目標指標の進捗管理 (PDCA サイクルの導入)」を行おうとしている。 KPI (重要業績評価指標) の設置は一般的に実現可能な数値が設定されやすいことが散見される。また希望の数値が設定されもする。 東御市 6 次産業化推進計画は「推進方策」「モノづくり」の「数値目標」が「市内ワイン生産本数」のみであること。「出口づくり」の「数値目標」が「6 次化に取り組んでいる事業者数」のみであること。「人づくり」の「数値目標」が「異業種との意見交換会の開催」のみであること。東御市 6 次産業化推進計画の「数値目標」は 3 項目でよいのか。「数値目標」が提示されなければ CHECK されないことになる。 東御市 6 次産業化推進計画の KPI 指標の PLAN&DO、CHECK に基づいた ACT につながるという計画の進行管理についての PDCA サイクルの認識が認められない。 東御市 6 次産業化推進計画を証拠に基づく政策形成 (evidence-based policy making) をするために「推進方策」「主な取組」の「数値目標」を求めたい。	PDCA サイクルについては、11 で回答したとおりです。 KPI については、現在提示している数値目標の実現に向け、推進方策に取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご意見として承ります。	C
16	市民とともに作り上げた計画でなければ、東御市 6 次産業化推進計画は理解されないだ	今後の参考とさせていただきます。	C

	ろう。 計画期間 2025 年には、農家数、新規就農者等の推移 evidence-based 図表 4 年齢別農業就業人口によれば 68%が 75 歳以上となる。平均年齢は 76.9 歳となる。 農業者の急速な高齢化と後継者不足で東御市の農業は死滅し、耕作放棄地の増加で東御市の農村は死滅するのか。国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観、文化の伝承までもがされなくなるのか。東御市 6 次産業化推進計画を検討するにつけ、東御市は農村なのか、都市なのか疑問となる。このような状況下に 6 次産業化推進計画はある。地域（農村）にとって「まち」「ひと」「しごと」はどれもつながっているだろう。硬直した行政区を持続可能性のある地域運営組織（「まち」づくり組織）システムに変えること。地域運営組織を多様性ある人材（「ひと」）が担うこと。過疎化高齢化を考慮した域内循環型経済に資する農業生産（「しごと」）を目指すこと。このような視点が求められる。地域運営組織（まち）によって、多様性ある住民（ひと）が生み出す農産物（しごと）が域内循環型経済に貢献する経済をつくる「推進方策」「主な取組」に重点を置いた 6 次産業化推進計画を望みたい。		
17	「フレンチパドックス」という言葉を知ってから赤ワインを晩酌にしています。今はチリ、イタリアが主です。理由はポリフェノールの多いことと安価なことです。 東御市は 2,000 円以上するので、外国産の 500 円/本は飲めても東御産は無理です。ポリフェノールが多くて安価なワインを作ってください。重点戦略加工品目ということなので、期待しています。私の周囲でも赤ワインを飲む人はいるので、潜在需要は多いと思います。また健康な老人の増加にも寄与すると思います。 農産物は何でも品質が良く、安価であれば売	ご意見として承ります。	E

	れると思います。		
18	意欲ある6次産業の担い手や新規就農者を確保するために、東御市が環境をよくする意向があること、及び、その具体的施策を、素案に追記すること。	ご意見として承ります。	C